



## 2022 Review of the Year

for the year ended 20th February 2022

## 2021年度決算概要







## 理事長ご挨拶



理事長として4度目の挨拶文を書いている現在、ウクライナでの憂慮すべき出来事が世界中のニュースを支配しています。ロシアのウクライナ侵攻による人々の悲劇は最も悲惨であり、紛争に巻き込まれたすべてのご家族にお悔やみを申し上げます。

西側諸国によるロシアに対する制裁措置は、貿易に劇的な影響を及ぼしました。2022年3月、当クラブはすべてのロシア籍船舶または実質所有船舶にかかわる保険契約を終了することを決議し、数十年にわたるロシア海運業界との関係に終止符を打ちました。

ウクライナでの出来事により、Covid-19のパンデミックは影が薄れてしまいました。しかし、Covid-19による業界の混乱は、世界の特定地域では依然として重大です。パンデミックは、当クラブの引受実績に影響を及ぼし続けています。当クラブは、年間を通して常に乗組員の病気や、港での遅延、検疫に直面しているメンバーの皆様からかなりの数の問合せをいただいています。ほとんどのクレームはそれぞれ少額ではありましたが、その件数がかかなりあるためCovid-19関連クレーム総費用は2021保険年度の保険料収入の約8%に相当しています。

国際P&Iグループのプール内で共有されているP&Iクレームの合計額は、昨年の実績を上回りました。頻度は低いものの、重大な海難事故は、クラブの収支にとって無視できないものとなっており、時間と費用、そして船主に対する風評の点で重大な影響を及ぼします。したがって、当クラブは、すべてのメンバーに可能な限り最高の水準で迅速な支援を提供し続けられるようにすることが重要と考えております。

スエズ運河でのエバーギブン号の座礁事故発生後の復旧作業とその後の交渉は、世間の注目を集め、また難航を極めました。本件は当クラブと関係者のたゆまぬ尽力により、迅速で満足のいく解決へと導くことができました。特に巨事故発生の際に、当クラブが有する専門知識や経験がメンバーに活かされたことを示す結果となりました。

大型クレームに関連するコストの増加は、P&I保険マーケットで保険料率が不十分である要因の1つです。当クラブは、過去2年間で、保険料率の適正化と引受成績の安定化に向けて大きな進歩を遂げてきました。2022年2月20日に終了した年度のコンバインドレシオが115%まで回復したことは、前年の実績から大幅に改善しており、保険引受の均衡を保つという目標に到達するための当クラブの長期的な改善計画に沿ったものです。

世界の投資市場は、ウクライナでの紛争の脅威が当クラブの年度末直前に市場の反落を引き起こすまで、年間を通じて好調でした。約1960万米ドル(1.9%)の最終的な運用益は、一般的な市況を考えると堅調であり、保険引受赤字の多くを相殺しました。

クラブの自由準備金は業界で最も盤石な部類の1つであり、すべての規制要件とS&Pキャピタルモデルにおいて最高の「AAA」を十分に満たしています。

強固な資本基盤と最高クラスのサービスは、クラブの全体的評価の基礎となるものです。直近の保険更新では、当クラブの継続的な強みをメンバーの皆様を示すことができました。競争の激しい市場において、クラブ・メンバーと当クラブの長期的なパートナーシップの強さを反映し、全メンバーの99%に保険更新をしていただくことができました。当クラブは、1億5000万総トンを超える加入船舶とともに新しい保険年度をスタートしました。これは前年度比で、ほぼ10%の成長に相当します。

2022年の初めに、当クラブはトーマスマイラー・スペシャリティとのパートナーシップを通じて固定保険料P&I保険の提供を開始しました。これは、クラブの提供する保険商品の幅を広げる重要な進展です。この拡大は、相互加入トン数の増加とともに、来年のクラブの保険料収入を大幅に増加させ、クラブにより多くの多様性と基盤をもたらします。P&I保険マーケットの保険料率ではコストをカバーするには不十分であるため、近年慎重なアプローチを取ってまいりました。しかし、保険料率が改善し始めており、躍動し成長するUKP&Iクラブが期待されます。

当クラブは、最高級のサービス提供を通じてメンバー・ニーズにお応えしていくため、メンバーの皆様の声に耳を傾けることに引き続き注力してまいります。そして今後も日々の専門的なサポート、巨事故が発生した場合の経験豊富なサポート、最高水準のロス・プリベンションアドバイスを提供いたします。

当クラブはメンバーや業界団体とパートナーシップを結び、船員の安全と福利厚生、海上での事故の防止など持続可能な実務の発展に取り組んでまいります。安全性は、クラブの持続可能性という課題の重要な要素であり、今後1年間でより詳細に推し進める所存です。

理事長としての私の職務は、当クラブに関わる多くの人々の支援と貢献があって初めて可能となります。この場をお借りして、副理事長のWan Hai LinesのR.チエン氏、Reederei F.LaeiszのN.Schües氏と日本郵船株式会社の日暮豊氏そしてAnthony VederのJ.Valkier氏に感謝いたします。クラブ全体の諸問題に対する、彼らのサポートはこれまでのクラブ運営には、きわめて重要なものであります。また、過去9年間にわたり当クラブにご貢献いただき、今年ご勇退されますN. Smith氏に感謝申し上げます。

新たにS.Beale氏とM.Butler氏をクラブ理事会にお迎えすることを嬉しく思います。当クラブはP&I相互保険に加え多様な事業で将来の成長を目標としているため、お二方の保険や金融に関するなご経験を活かしていただけたと思っています。

メンバー委員会は、引き続き理事会とクラブメンバーとの間で重要な架け橋となっています。メンバー委員会は、2021年に1度だけ会議が対面で開催されましたが、他の会合はリモートで行われました。今後も対面での会議に戻れることを願っております。

MSC Mediterranean Shipping Company SAのL.Audaz氏、明治海運グループのMMS Co Ltd.の藤川仁氏、ENEOS オーシャン株式会社の藤原佳氏、Taylor Maritime (Hong Kong) のP.C.Over氏、Shell International Trading and Shipping Co.Ltd のK. Trauth氏を歓迎いたします。また、Shell International Trading and Shipping Co.LtdのG.Henderson氏、くみあい船舶株式会社の向江信孝氏、ENEOSオーシャン株式会社の高山和義氏Grindrod Shipping Pte LtdのWade氏に、これまでのメンバー委員会におけるご尽力に感謝の意を表します。

最後になりましたが、当クラブとメンバーのために尽力してくださったクラブ管理者のスタッフに感謝いたします。彼らがメンバーと築くパートナーシップと、特に不確実の時代に、メンバーを支援する彼らの能力と意欲は、依然として私たちのクラブの最も重要で価値のある強みの1つです。

理事長 ニコラス イングレシス



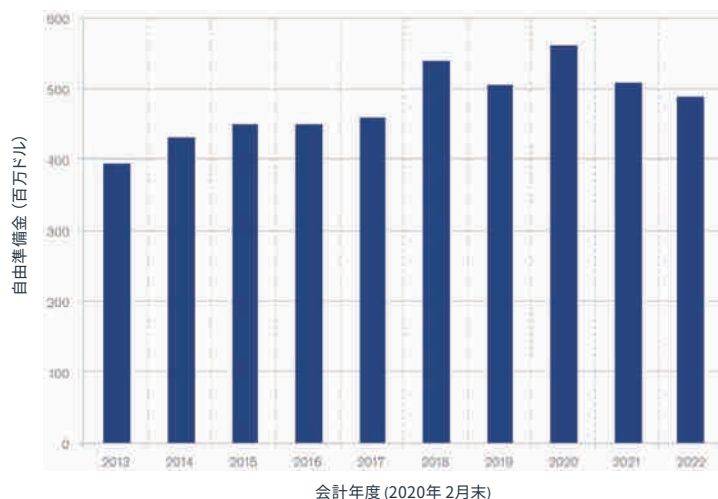


## 主要財務データ

### 自由準備金

2012~2021会計年度

自由準備金は、投資収益が保険引受損失を相殺するには不十分だったため、わずかに減少した。しかしながら、クラブは依然として業界において最も強力な財務力を有しているクラブの一つである。

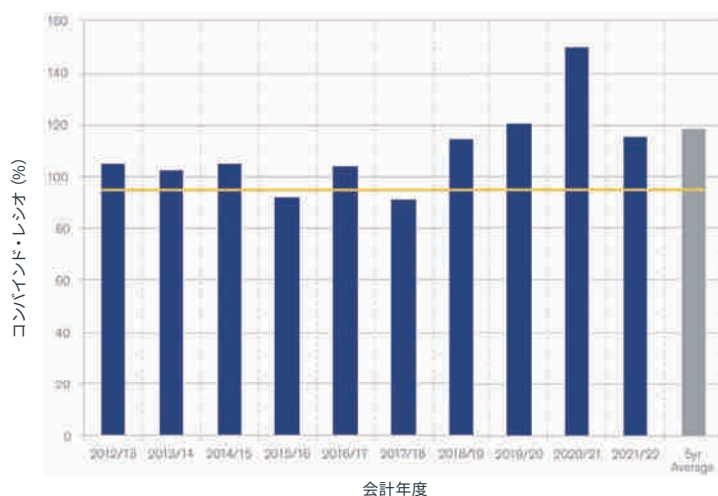


### コンバインド・レシオ

2012~2021会計年度

(Mutual Premium Discountを除く)

コンバインド・レシオは115%となり、昨年より大幅に改善した。これは当クラブの長期計画に沿った結果である。

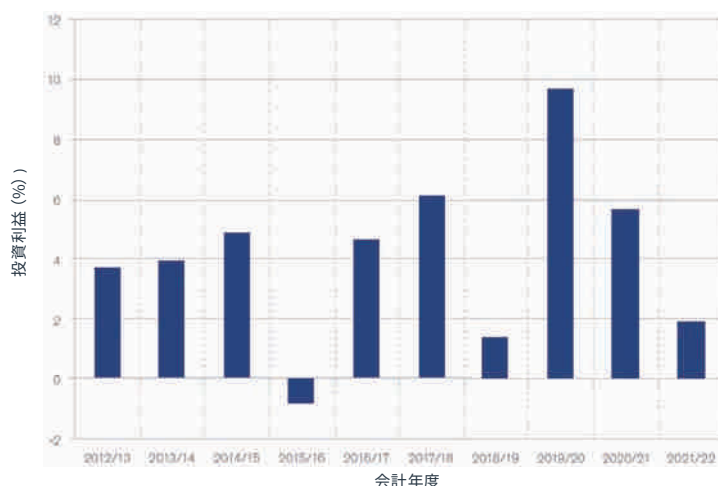


■ レシオ  
— 目標

### 投資利益

2012~2021会計年度

2021年度の当初は低金利による経済回復に恵まれ、良いスタートを切った。しかし、急激なインフレと地政学的リスクの増加に伴い期末になって減収となった。



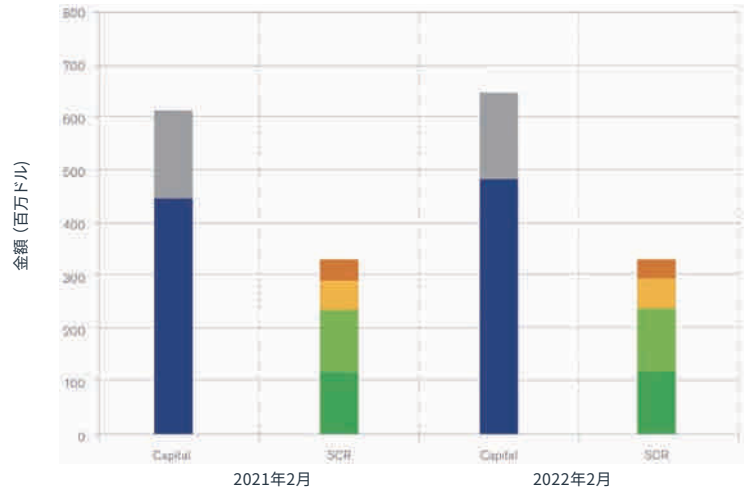


## 自己資本

### グループ全体の自己資本

資本は減少したものの、当クラブはすべての規制要件を満たし、S&Pの資本モデルにおいて最も高いAAAレベルの要件を満たしている。

- 付随的資本
- 基本資本
- オペレーショナル・リスク
- 取引先デフォルト・リスク
- 引受リスク
- 市場リスク



## クレームの規模および件数

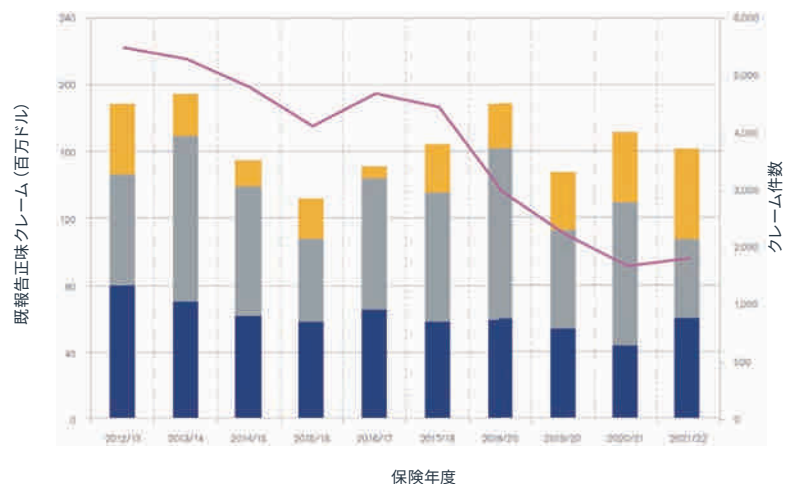
### 2012~2021保険年度

#### 12ヶ月経過時点の既報告正味クレーム

クレームの発生件数は低下し続けているため、大型クレーム (50万米ドル超のクレーム) が当クラブ全体の業績に大きく影響している。

2021年度における当クラブ自身の大型クレームは多くはなかったが、IGプールクレーム全体では、昨年度の記録を上回り、史上最悪の記録 (再保険控除後) を更新した。また、少額クレームは新型コロナ関連のクレームの影響を反映して増加している。

- プール
- 少額
- 大型
- 件数



年度別件数は線グラフで表示。  
総クレームコストと規模別の内訳は棒グラフで表示

## 年度別の加入トン数

### 2012~2021保険年度

P&Iマーケットにおける保険料水準が低下していたため、また、当クラブは規律のある保険引受けを維持することに注力しているため、当クラブがIGプールに報告した加入トン数は近年安定している。今年度当クラブが成長できたのは、メンバーとの信頼関係の強さを示している。

